

対馬暖流は暖水渦を迂回して北上 対馬暖流の流量は平年並み 今後の沿岸水温はさらに高めで推移

2023年7月25日～29日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は松前沖の東経139度から北西方向へ流れ、北緯43度付近から東流しています(図1c)。このため、対馬暖流は、せたな沖では岸近くを流れる傾向にありますが、今回は遥か沖合を流れており珍しい現象です。また、積丹半島沖には暖水渦があり、対馬暖流はこの渦の西方を迂回して北上しています(図1c)。

せたな沖で計算した対馬暖流の北上流量は約1.5 Sv (1 Sv=10⁶ m³/s) で平年並みとなっています(8月流量の平年値は1.5 Sv)。

50 m深水温は5～15 °Cで、暖水渦の分布する海域、および道南の沖合の海域で平年よりも約3～6 °C高くなっています(図1a,b)。

7月下旬の余市前浜水温は「非常に高い」ですが(※1)、向こう1ヶ月の気温の予報は平年よりも高くなる確率が高くなっていますので(※2)、今後、沿岸水温は平年よりもさらに高くなることが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

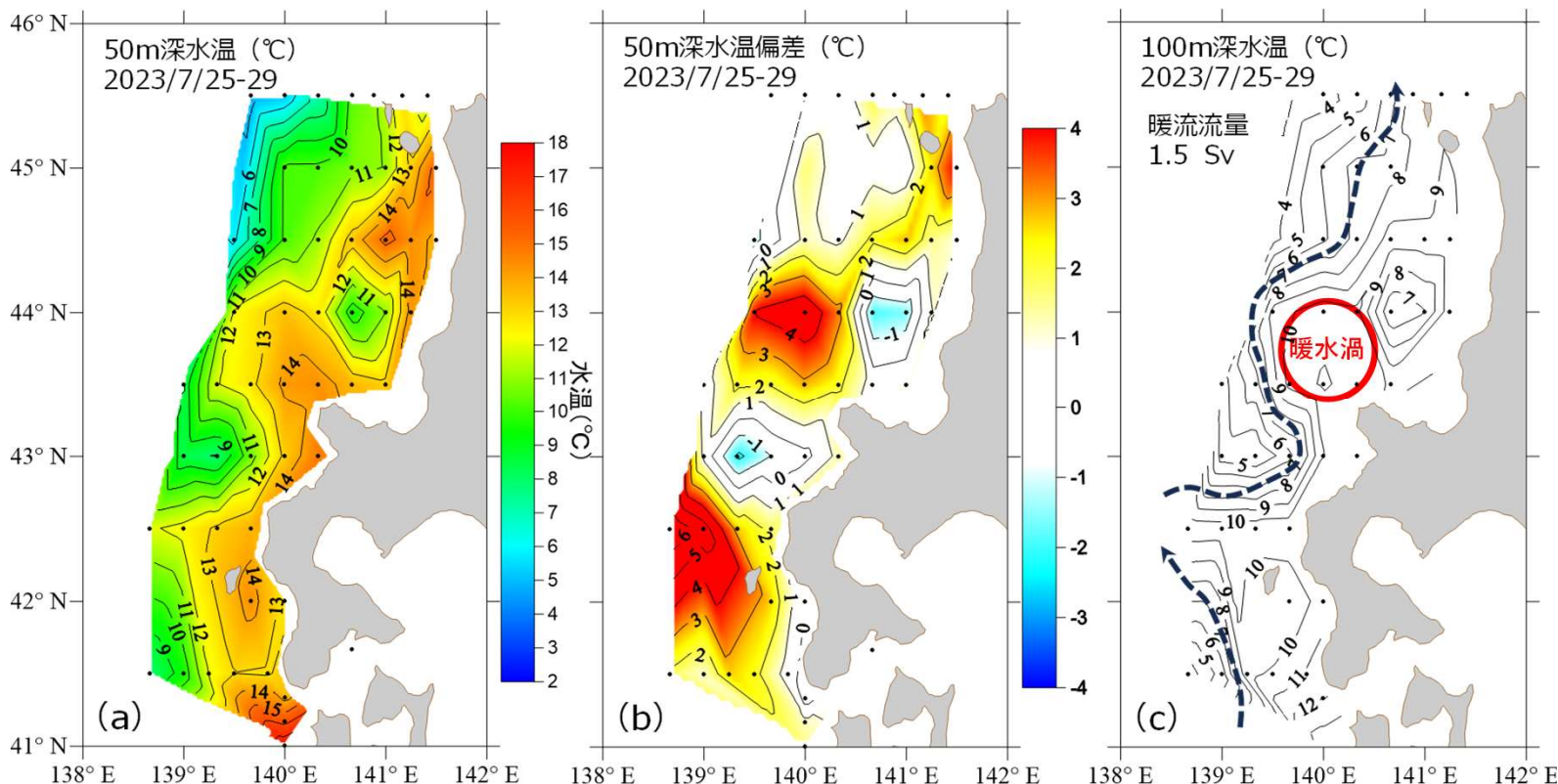


図1 2023年7月下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路(矢印)。水温偏差は過去30年(1989年～2018年)の平均値から算出。流量の単位はSv (=1×10⁶m³/s)。